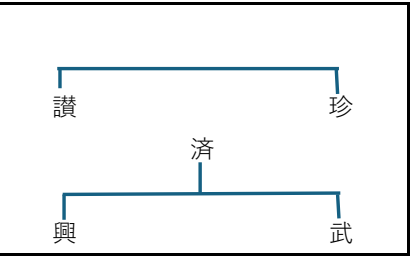


資料27 倭の五王の天皇比定の試み

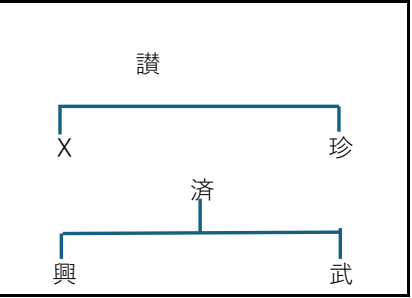
(1)倭王の遣使氏と除正
(宋書)

421年	讃遣使、除正
425年	讃遣使、除正
430年	倭国王遣使
438年	珍遣使、除正
443年	済遣使、除正
451年	済除正
460年	興遣使
462年	興除正
477年	武遣使
478年	武遣使、除正

(2)倭王の系譜
(宋書)



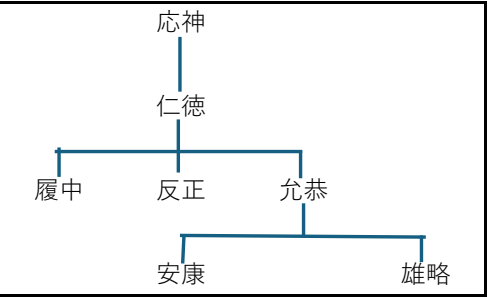
(2)' 倭王の系譜



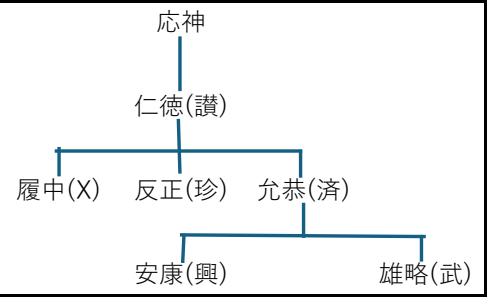
(5)天皇の在位期間の推定

	a	b	c	d	
	在位期間 (日本書紀)	崩御年 (古事記)	bに基づく 在位期間	(1)による cの修正	在位中の 遣使、除正
応神	270～310	394	□～394	□～394	
仁徳	313～399	427	397～427	397～428	421、425
履中	400～405	432	428～432	429～434	430
反正	406～410	437	433～437	435～440	438
允恭	412～453	454	439～454	442～458	443、451
安康	454～456	□	455～□	459～462	460、462
雄略	457～479	489	□～489	463～479	477、478

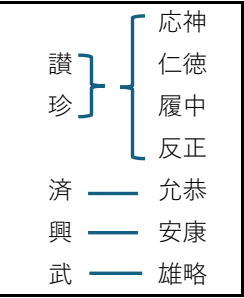
(3)天皇の系譜
(日本書紀)



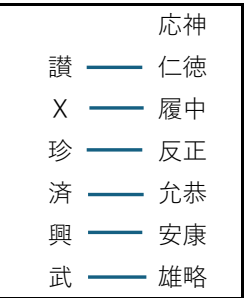
(3)' 天皇の系譜



(4)倭王と天皇の
対応関係



(4)' 倭王と天皇の
対応関係



注・ b欄は、「古事記」分注崩年干支を西暦換算したもの（那珂通世による）。神功皇后と安康は崩御年の記載がない。

- ・ c欄は、前天皇の崩御年の翌年を次の天皇の即位年とした。但し、仁徳と允恭は、「書紀」記載の通り、即位前にそれぞれ2年、1年の空位期間をとった。
- ・ d欄は、在位年数をc欄の数値に近く保ちつつ、在位期間中に遣使・除正の年が入るように、即位年と崩御年を調整した。雄略の崩御年は「書紀」を採用した。